

2025（秋学期） 学 生 募 集 要 項

経営学研究科 修士課程

【一 般 選 拔】

【社 会 人 特 別 選 拔】

【長期履修学生特別選拔】

【外国人留学生特別選拔】

CONTENTS / 目次

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）	1
入試概要	
募集人員	1
出願資格	1
出願前の事前相談	1
一般選抜	2
社会人特別選抜	3
長期履修学生特別選抜	4
外国人留学生特別選抜	5
特別演習の概要	6
出願要領	
出願書類	7
入学検定料の振込み	8
受験票の発送	8
身体に障がいのある者の出願	8
受験要領	
受験に関する注意事項	9
合格者発表	10
入学手続要領	
入学手続の流れ	10
入学辞退	10
学納金等	10
奨学制度	
新入生対象	11
在学生対象	12
昼夜開講制	12
個別の入学資格審査	13

出願書類

入学願書（1枚）
写真票・宛名ラベル・振込依頼票・入学検定料領収書（1枚）
研究計画書 / 推薦書 / 長期履修申請書 /
履歴書 / 経費支弁書 / 封筒貼付用宛名シート（各1枚）

入学資格審査 に係る書類

入学資格審査申請書（1枚）

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

本研究科では、本学が定めた「建学の精神」や「教育理念」「教育目標」、加えて「経営学研究科の人材養成の目標」に共感し、以下のような熱意や意欲を有している人を求めます。

1. 経営に関する深い専門知識の修得に強い意欲を持ち、「学士」相当の学修能力を身に付けている。
2. 創造力と実践力とを兼ね備え、将来は企業や自治体、NPO等の組織で高度な課題に応えられる管理職等をめざしている。
3. 職業会計人として活躍しようと考えている。
4. 実社会での経験を踏まえ、経営学の知識を深化させたいと考えている。
5. 企業等の組織において、最高経営責任者を補佐する立場を担って情報戦略の立案と遂行に携わろうと考えている。

■ 入学者選抜方針

一般選抜、社会人特別選抜、長期履修学生特別選抜、外国人留学生特別選抜の志望区分を設定し、本学への入学を強く希望する人を求めています。

入試概要

■ 募集人員

《修業年限2年》			
入学時期	志望区分	入試区分	募集人員
2025年10月	一般選抜	秋学期	若干名
	社会人特別選抜		
	長期履修学生特別選抜		
	外国人留学生特別選抜		

■ 出願資格

次の(1)～(9)のいずれかに該当する者。（注）各選抜の出願要項も確認すること。

- (1) 大学を卒業した者および2025年9月30日までに卒業見込みの者。
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者および2025年9月30日までに授与される見込みの者。
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者および2025年9月30日までに修了見込みの者。
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者および2025年9月30日までに修了見込みの者。
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者および2025年9月30日までに修了見込みの者。
- (6) 外国の大学その他の外国の学校において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者および2025年9月30日までに授与される見込みの者。
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者および2025年9月30日までに修了見込みの者。
- (8) 文部科学大臣の指定した者。
- (9) 本学において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2025年9月30日までに22歳に達する者。
（注）(9)の審査を希望する者は、個別の入学資格審査（p.13）を参照してください。

■ 出願前の事前相談

他大学等から出願を希望する場合、希望する特別演習（専門科目）の指導教員に予め連絡を取り、研究計画等に関する事前相談が必要です。出願前に必ず入学センター（0120-78-5920 [受付時間：月～金（祝日を除く）9:00～17:00]）までご連絡ください。

一般選抜

■ 出願要項

出願資格 (p. 1) を満たす者。

■ 入試日程等

出願期間	試験日	試験場	合格者発表日	入学手続締切日
2025年 6月 2日(月) ～ 6月13日(金) 消印有効	2025年 7月 5日(土)	本学	2025年 7月10日(木)	一次：2025年 7月23日(水) 二次：2025年 8月20日(水)

■ 選考方法

出願書類による書類審査、学力検査（英語、専門科目）、面接の結果により総合判定します。

■ 試験時間割

受験者控室 入室時間	英 語	専門科目	面接（約15分）
10：00 ～ 10：25	10：40 ～ 11：30	13：00 ～ 14：00	14：30 ～

- ・英語の試験では、辞書（電子辞書を除く）の持ち込みを許可します。
- ・専門科目を選択する場合は、下表から1科目を選択してください。
- ・面接では、学力検査、研究計画書の内容等に関する口頭試問を行います。
- ・各自で昼食を準備してください。

専 門 科 目						
経営学 データベース論	経営組織論 財務会計論	人材戦略論 管理会計論	国際経営論 経済学	経営情報学	情報システム論	経営工学

- ・一部の専門科目で関数機能の無い電卓の持ち込みを許可する場合には、受験票でお知らせします。

■ 出願方法

書類の提出、入学検定料の納入方法等については、p. 7・8を参照してください。

社会人特別選抜

■ 出願要項

出願資格 (p. 1) を満たし、入学時において大学卒業後 2 年以上経過している者。

■ 入試日程等

出願期間	試験日	試験場	合格者発表日	入学手続締切日
2025年 6月 2日(月) ～ 6月13日(金) 消印有効	2025年 7月 5日(土)	本学	2025年 7月10日(木)	一次：2025年 7月23日(水) 二次：2025年 8月20日(水)

■ 選考方法

出願書類による書類審査、学力検査（専門科目）または小論文、面接の結果により総合判定します。

■ 試験時間割

受験者控室 入室時間	専門科目または小論文	面接（約 15 分）
12：20 ～ 12：45	13：00 ～ 14：00	14：30 ～

- ・専門科目を選択する場合は、下表から 1 科目を選択してください。
- ・面接では、学力検査、研究計画書の内容等に関する口頭試問を行います。

専 門 科 目						
経営学 データベース論	経営組織論 財務会計論	人材戦略論 管理会計論	国際経営論 経済学	経営情報学	情報システム論	経営工学

- ・一部の専門科目で関数機能の無い電卓の持ち込みを許可する場合には、受験票でお知らせします。

■ 出願方法

書類の提出、入学検定料の納入方法等については、p. 7・8を参照してください。

長期履修学生特別選抜

■ 長期履修学生制度とは

職業に就いたり家事に従事したりしながら、3年以上の在学年数をあらかじめ自分自身で定め、大学院の修了資格（修士の学位）が取得できる制度です。

- ① 在学年数を自分の事情に合わせて、自由に決めることができます。（ただし、4年までの在学となります）
- ② 学納金は長期履修許可在学年限によって、納入しやすいように決定します。また、入学金は3年に分けて納入することができます。

■ 出願要項

出願資格（p.1）を満たし、入学時において大学卒業後2年以上経過している者。

■ 入試日程等

出願期間	試験日	試験場	合格者発表日	入学手続締切日
2025年 6月 2日(月) ～ 6月13日(金) 消印有効	2025年 7月 5日(土)	本学	2025年 7月10日(木)	一次：2025年 7月23日(水) 二次：2025年 8月20日(水)

■ 選考方法

出願書類による書類審査、学力検査（専門科目）または小論文、面接の結果により総合判定します。

■ 試験時間割

受験者控室 入室時間	専門科目または小論文	面接（約15分）
12：20 ～ 12：45	13：00 ～ 14：00	14：30 ～

- ・専門科目を選択する場合は、下表から1科目を選択してください。
- ・面接では、学力検査、研究計画書の内容等に関する口頭試問を行います。

専 門 科 目						
経営学	経営組織論	人材戦略論	国際経営論	経営情報学	情報システム論	経営工学
データベース論	財務会計論	管理会計論	経済学			

- ・一部の専門科目で関数機能の無い電卓の持ち込みを許可する場合には、受験票でお知らせします。

■ 出願方法

書類の提出、入学検定料の納入方法等については、p.7・8を参照してください。

外国人留学生特別選抜

■ 出願要項

出願資格 (p. 1) を満たし、次の①・②に該当する者。

ただし、②の要件を満たさない者については、本学で日本語の試験を課します。

- ① 外国の国籍を有し、「出入国管理及び難民認定法」に基づく在留資格「留学」を有している者、または本学入学にあたって在留資格「留学」を取得できる者。
- ② 「日本語能力試験N1」に合格した者、または「日本留学試験 (2024 年 6 月または 11 月実施分)」の「総合科目」、「数学 (コース 1・コース 2)」、「理科 (物理・化学・生物)」のいずれか 1 科目と「日本語」を受験し、それぞれ平均点以上を取得した者。(なお、出題言語は自由とする)

■ 入試日程等

出願期間	試験日	試験場	合格者発表日	入学手続締切日
2025 年 6 月 2 日 (月) ～ 6 月 13 日 (金) 消印有効	2025 年 7 月 5 日 (土)	本学	2025 年 7 月 10 日 (木)	一次 : 2025 年 7 月 23 日 (水) 二次 : 2025 年 8 月 20 日 (水)

■ 選考方法

出願書類による書類審査、学力検査 (専門科目)、面接の結果により総合判定します。

(注) 出願要項②の条件を満たさない者については、本学で課す日本語 (日本語能力試験 N 1 相当) の試験結果も含めて総合判定します。

■ 試験時間割

受験者控室 入室時間 (日本語受験者)	日本語	受験者控室 入室時間 (専門科目からの受験者)	専門科目	面接 (約 15 分)
10 : 00 ～ 10 : 25	10 : 40 ～ 11 : 30	12 : 20 ～ 12 : 45	13 : 00 ～ 14 : 00	14 : 30 ～

- ・専門科目は、下表から 1 科目を選択してください。
- ・面接では、学力検査、研究計画書の内容等に関する口頭試問を行います。
- ・日本語の試験は、午前から実施のため、各自で昼食を準備してください。

専 門 科 目						
経営学 データベース論	経営組織論 財務会計論	人材戦略論 管理会計論	国際経営論 経済学	経営情報学	情報システム論	経営工学

- ・一部の専門科目で関数機能の無い電卓の持ち込みを許可する場合には、受験票でお知らせします。

■ 出願方法

書類の提出、入学検定料の納入方法等については、p. 7・8を参照してください。

特別演習の概要

経営学特別演習	これまでの歴史を振り返ると、企業は人間の命と同様、永遠に存続できるわけではない。日々環境の変化にさらされており、常に環境に適応していかなければ、存続は不可能である。そこで、本演習では現実の企業に焦点を当て、外部的には技術革新やグローバル化、内部的には経営戦略といった観点から、種々のステイクホルダーの立場に立脚して分析を進める。
経営組織特別演習	企業を取り巻く経営課題は加速度的に複雑になっており、企業経営はますます難しくなっている。しかし、それと同時に、近年、経営理論も長足の進化を遂げており、これまで以上に経営の現場に活かされるようになっている。そこで本演習では、経営学の中でも戦略論・組織論を中心に最先端の理論を学び、それらの理論を用いて企業が直面する課題を具体的にどのように解決していくのか、その実践知を修得する。
人材戦略特別演習	社会のあらゆる面においてグローバル化とデジタルトランスフォーメーションが進む状況を鑑み、日本の人材育成システム全般を洗い直してみる。世界に伍して活躍できる人材の要件とは何か、それを満たす人材を育てるために学校教育の内容や学校はどうか改革されなければならないのか、また、日本の企業内教育訓練はどうあるべきかを考える。さらに、少子高齢化が最も進んでいる日本において、潜在的な人材はどこに存在するのか、彼女/彼らを活性化させるシステムはどうあるべきかについて研究する。
国際経営特別演習	新型コロナウイルスのパンデミック、そしてウクライナ危機により1990年代以降のグローバリズムは大きな曲がり角に差し掛かっている。このような世界情勢のもとで、国際ビジネス・グローバルビジネスの主演である「多国籍企業」は、どのようにして生き残りを図るべきであろうか。本演習においては、「多国籍企業」に焦点を当て、経済倫理・企業倫理のフレームワークに依拠して、「多国籍企業」の行動を分析し、その行動を方向付け、社会に寄与させる方法について研究を行う。
経営情報学特別演習	1960年代に始まった経営情報システムは、情報化社会の進展において、会社経営にとってなくてはならない存在となっている。特に、DXが求められる現代においては、IoTやビッグデータ、AIなどの技術を用いたデータ利活用が注目されている。本演習では、このような状況をふまえ、超情報社会における課題を設定し、上記の技術などを活用し課題解決に取り組む。課題のテーマについては、柔軟に対応する。
情報システム特別演習	ソフトウェア進化における企業情報システムへの適応をテーマに、情報システムの開発・運用を中心に研究を行う。具体的には、オブジェクト指向分析設計、ソフトウェア開発プロセス、プロジェクト・マネジメントを中心に効果的システム開発および運用について演習を行う。
経営工学特別演習	Society5.0社会の進展によって、DXの推進が図られ、経営工学の分野の研究の重要性は益々増している。本演習では、経営に関する諸問題について、最新の経営工学的アプローチによって問題を解決する手法を学び、それを使って、ビジネス分野のフィールドで、諸課題について実践研究を行う。具体的な課題のテーマや演習の進め方については、柔軟に対応する。
データベース特別演習	これまで企業における情報システムには、リレーショナル・データベースが組み込まれることが多かった。そのようななかでビットコインの中核技術として広く知られるようになったブロックチェーンは、分散データベースの一種であることも捉えることができる。本演習では、ビジネスモデルや現代的課題に応じて、それに適合するデータ構造及びデータベースを探る。
財務会計特別演習	今日、企業の経済活動は複雑化、多様化しており、それに対応するように会計制度も大きく変化している。こうした制度変革の背景や基礎となる論理について考察するとともに、現行の会計制度、会計基準について具体的に検討する。また、必要に応じて、企業が開示する有価証券報告書などに記載されているデータを用いた検証を行う。
管理会計特別演習	企業経営における会計の重要性は従前より認識されており、会計を用いない経営は現代では考えられないものとなっている。特に、企業内部のビジネスプロセスにおける卓越性を獲得することは、激化する競争環境を生き抜くために重要である。本演習では、原価計算を中心に、なぜ会計が経営管理上重要な役割を担うに至ったのか、そして、なぜ現代のような発展を遂げたのかを考察することを大きな目的とする。
経済学特別演習	（実証）経済学の研究を遂行する上で重要なのは、現実を偏りのない目で観察し、仮説を推論し、それをデータで検証するという一連の作業を手際よく行えることである。本演習ではそのために必要な資質を身に付けることを目標とする。取り上げるテーマについては、柔軟に対応する。

出願要領

■ 出願書類

【共 通】

- ・出願書類（所定用紙）はA4サイズの普通紙（白色）を使用し、入学願書・研究計画書・履歴書は両面で印刷してください。
- ・自分で準備した封筒の表面に「封筒貼付用宛名シート」を貼付し、「特定記録・速達」にて郵送してください。入学願書等は二つ折にしても構いません。（出願締切日の消印有効）
- ・黒のボールペンを使用し、はっきりと正確に記入してください。
- ・一度受け付けた出願書類および入学検定料は返却しませんので、出願に当たっては十分注意してください。

【留 学 生】

- ・日本語で表記されていない書類は、すべて日本語訳を添付してください。
- ・コピーと指定していないものは、すべて原本（オリジナル）を提出してください。
- ・必要に応じてその他の書類の提出を求めることがあります。
- ・提出書類に虚偽があった場合は、入学手続き後でも入学許可を取り消すことがあります。

【対象者の見方】 — （一般選抜）、社（社会人特別選抜）、長（長期履修学生特別選抜）、留（外国人留学生特別選抜）

出 願 書 類	対象者	注 意 事 項
入 学 願 書	一・社 長・留	所定用紙にて提出してください。
写 真 票	一・社 長・留	所定用紙にて提出してください。 太線枠内を記入し、該当する□内にレ点を付してください。 写真：正面脱帽顔写真（縦4cm×横3cm）で、最近3ヵ月以内に撮影したもの。 写真の裏面に氏名を必ず記入してください。 入学検定料の銀行振込時に、必ず銀行収納印を受けてください。ATMで振込む場合は必要ありません。
宛 名 ラ ベ ル	一・社 長・留	所定用紙にて提出してください。 受験票が確実に配達される住所（日本国内の住所）および氏名を正確に記入してください。
研 究 計 画 書	一・社 長・留	所定用紙にて提出してください。
推 薦 書	一・留	所定用紙にて提出してください。 【一 般】 出身大学の演習担当教員（または相当する教員）が記載したものを提出してください。 【留学生：日本の大学・専修学校等に6ヵ月以上在学した者（日本語教育機関は除く）】 指導教員（または相当する教員）が記載したものを提出してください。
成 績 証 明 書 卒 業（修 了）証 明 書	一・社 長・留	【卒業（修了）している者】 ・成績証明書 ・卒業（修了）証明書 【卒業（修了）見込の者】 ・成績証明書：出願時点までのもの。 ・単位修得見込証明書：現在履修中の科目に関するもの。 ・卒業（修了）見込証明書 【大学院を修了している者および修了見込の者】 大学と大学院の両方について提出してください。 すべて原本（オリジナル）を提出してください。一度しか発行されない等の理由でコピーを提出する場合は、出身学校や大使館等の公的機関で原本証明を受けたものを提出するか、試験当日に原本を大学へ持参してください。
長 期 履 修 申 請 書	長	所定用紙にて提出してください。
履 歴 書	留	所定用紙にて提出してください。
日 本 語 能 力 に 関 す る 証 明 書（コ ピー）	留	日本語能力試験N1の可否結果通知書のコピー、または 日本留学試験の受験票のコピー（2024年6月または11月実施分）

出 願 書 類	対象者	注 意 事 項
日本語教育機関の証明書	留	【日本国内の日本語教育機関（日本語学校等）に在籍中の者のみ提出】 ・出席証明書（卒業可・不可の記載がない場合は、卒業見込証明書も提出） ・成績証明書
経 費 支 弁 書	留	所定用紙により、 <u>経費支弁者本人が記入・押印したもの</u> を提出してください。 <u>母国語で記入し、その下に日本語訳を記入してください。</u> 経費支弁者は原則として父または母。
在 留 カ ー ド (コピー)	留	在留カード（表・裏）のコピー

■ 入学検定料の振込み

出願開始日の1週間前から振込みが可能です。

【金融機関から振込む場合】とじ込みの振込依頼票により、最寄りの金融機関から本学指定の振込先へお願いします。

【ATMから振込む場合】入学願書（裏面）の注意事項を確認してください。

入学検定料	
大 学 院	30,000 円

【免除制度】

本学を受験される方の2親等以内（父母、兄弟姉妹など）に、本学卒業生または在籍されている方がいる場合は、申し出により入学検定料が免除になりますので、入学センターまでご連絡ください。

■ 受験票の発送

出願書類に不備がなければ順次郵送します。なお、試験日の3日前までに届かない場合は、入学センターまでご連絡ください。

■ 身体に障がいのある者の出願

身体の障がい等により、受験および修学上特別の配慮を必要とする方は、受験する入試区分の出願開始日の2ヵ月前までに入学センター（0120-78-5920）まで申し出てください。「受験上の配慮希望申請書」の提出後、配慮の内容によっては、事前面談を行うことがあります。

受験要領

■ 受験に関する注意事項

【試験場の確認等】

- (1) 最終ページ「交通のご案内」、「学内図」を参照してください。
- (2) 下見は、試験前日の13時から17時まで可能です。試験室内への入室はできません。
- (3) 受験に関する詳しい注意等を、試験前日の13時から掲示しますので、下見の際、または試験当日入室前に、必ず本館前の掲示板を確認してください。

【試験当日、本学への連絡】

入試に関する問い合わせは、入試実施本部（087-841-5920）へ連絡してください。

【試験当日の注意】

- (1) 受験票を必ず持参してください。万一、受験票を忘れた場合は入試実施本部で仮受験票の交付を受けてください。
- (2) 本学への入構は試験開始時刻の1時間前から可能です。試験室は受験者控室入室開始時刻に開室しますので、指定した時間までに入室してください。着席後は受験票を机の上に置いてください。
- (3) 試験開始後20分を経過してからの入室は認めません。また、試験時間中の中途退室はできません。
- (4) 面接開始時間は、試験当日に本館前または試験室前の掲示板にある「面接進行表」を確認してください。
- (5) 携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末等の電子機器類を時計代わりとして使用することはできませんので、試験室に入室する前に必ずアラームの設定を解除し電源を切り、かばん等にしまってください。
- (6) 他の受験者の迷惑になるような行為があった場合は、受験の中止等の措置を講じることがあります。
- (7) 体調が悪くなった場合は、係員に申し出てください。
- (8) 試験場内では、係員の指示に従ってください。
- (9) 試験当日、自家用車で送迎の際は、道路上での乗り降りは危険ですので、本学駐車場（正門から入構）をご利用ください。
- (10) 付添者の方には、付添者等控室を用意しています。なお、控室以外の施設への立ち入りはできません。
- (11) 気象警報発表時の対応については、本学ホームページ (<https://www.takamatsu-u.ac.jp/>) へ掲載しますので、確認してください。

＜学力検査の注意＞

- (1) 机の上には、受験票のほか、鉛筆・鉛筆キャップ・シャープペンシル・消しゴム・鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類は不可）・時計（辞書・電卓・端末等の機能のあるもの・秒針音のするもの・大型のものは不可）・眼鏡を置くことができます。英語の試験では、辞書（電子辞書を除く）を置くことができます。一部の専門科目で関数機能の無い電卓の持ち込みを許可する場合には、受験票でお知らせします。
- (2) 携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末等の電子機器類は使用できません。時計代わりとして使用することもできませんので、試験室に入室する前に必ずアラームの設定を解除し電源を切り、かばん等にしまってください。試験中に身に付けていたり、手に持っているとは不正行為になることがあります。
- (3) 試験室内では、上着（コート等）を着用しても構いません。英文字や地図等がプリントされている服等を着用しないでください。着用している場合は脱いでもらうことがあります。
- (4) 不正行為を行った場合は、その時点で受験の中止と退室を指示し、それ以後の受験はできません。また、受験した全ての科目の成績を無効とします。

【感染症（インフルエンザ等）への対応】

試験当日、学校保健安全法で出席停止が定められている感染症（インフルエンザ・麻疹等）に罹患し、治癒していない場合は、他の受験者等への感染の恐れがあるため、受験はできません。

インフルエンザ等の感染症で試験を欠席した者については、申請により、別の日程で追試験を受験できます。（入学検定料の追加徴収はありません）追試験を希望する場合は、試験当日の11:00～16:00の間に、入学センターへ電話で申し出てください。後日、医師の診断書（病名・加療期間（欠席した入学試験日を含む）が明記されたもの）の提出が必要です。

■ 合格者発表

合格者発表当日の16時から、ホームページにて合格者の受験番号を発表します。

(電話等による可否の問い合わせには一切応じません)

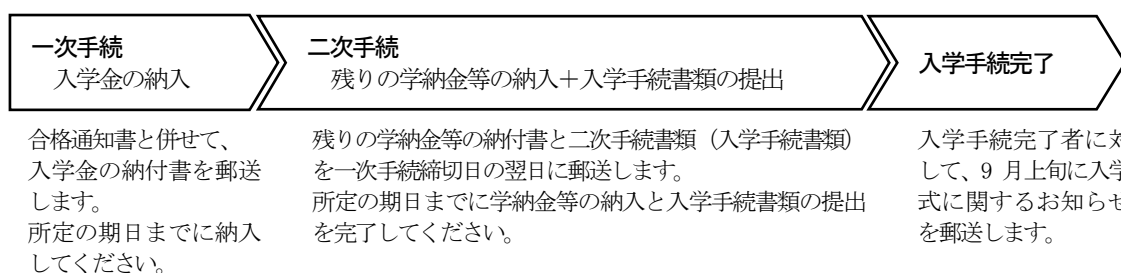
URL <https://www.takamatsu-u.ac.jp/> 本学ホームページから閲覧可能

また、合格者に対して、合格通知書および入学手続き書類を、合格者発表当日の午後に速達で郵送します。到着は、合格者発表日の翌日または翌々日の予定です。

入学手続き要領

■ 入学手続きの流れ

合格者は、合格通知書受領後、所定の期日（p.2～5 参照）までに入学手続きを完了してください。



■ 入学辞退

入学手続完了後、入学を辞退する者については、本学所定の書類を入学辞退締切日までに提出した場合、入学金を除く既納の学納金等を指定された口座に返還します。本学所定の書類は、申し出（月～金（祝日を除く）9:00～17:00）により郵送します。

入試区分	入学辞退締切日
秋学期	2025年9月30日(火) 17:00 (必着)

学納金等

■ 一般・社会人・留学生

入学手続時（一次手続・二次手続）の納入分は入学年次半期の学納金等です。本学所定の振込用紙で期日（p.2～5 参照）までに納入してください。入学後は、4月末、10月末に各学期分を口座振替による納入となります。

※ 社会人・留学生は、本学規程に基づき、次の表に記載している授業料の50%を減免します。なお、留学生は、学期ごとに審査を行い、出席常でなく成業の見込みがない場合または懲戒事項に抵触した場合等には、減免を取り消します。

費 目		一次手続時	二次手続時	以降、学期ごと	1年次最低納入額
学納金	入 学 金	200,000 円	—	—	200,000 円
	授 業 料	—	※ 305,000 円	※ 305,000 円	610,000 円
	施 設 設 備 維 持 費	—	50,000 円	50,000 円	100,000 円
徴収金 委託	学生教育研究災害傷害保険掛金	—	1,750 円	—	1,750 円
	後 援 会 費	—	60,000 円	—	60,000 円
合 計		200,000 円	416,750 円	355,000 円	971,750 円

〈備考〉・委託徴収金として、修了年次に同窓会費・卒業諸経費の納入が必要です。

・その他、授業関連材料費・テキスト代等は各学期で必要です。

■ 長期履修学生

費 目		金 額
(※1) 入 学 金		200,000 円
(※2) 学納金年額	授 業 料	305,000 円
	施設設備維持費	100,000 円

※1 入学金は、3年に分けて納入することができます。

※2 次ににより算出した長期履修学生の学納金年額の2分の1に相当する額を学期ごとに納入してください。納入方法は、口座振替となります。

学納金年額 × 標準の修業年限（2年）÷ 長期履修許可在学年限

なお、上記の授業料は、本学規程に基づき50%を減免しています。（留学生は、学期ごとに審査を行い、出席常でなく成業の見込みがない場合または懲戒事項に抵触した場合等には、減免を取り消します）

（注）学生教育研究災害傷害保険掛金、後援会費、同窓会費、卒業諸経費等の委託徴収金については、別途、納入してください。また、テキスト代は各学期で必要です。

奨学制度

■ 新入生対象

① 授業料の免除制度

社会人・留学生は、授業料を一般入学者の半額とします。（2年間にわたり継続）

② 入学金の免除制度

本学への入学前6ヵ月以内において、入学者の学資負担者が死亡された方、または、入学者もしくは入学者の学資負担者が被災された方を対象として、入学金の免除制度を設けています。詳しくは、入学センターまでお問い合わせください。

③ 学納金等の免除制度

本学への入学希望者で、大規模災害によって被災された方を対象として、学納金等の免除制度を設けています。詳しくは、入学センターまでお問い合わせください。

④ 入学検定料の免除制度

本学を受験される方の2親等以内（父母、兄弟姉妹など）に、本学卒業生または在籍されている方がいる場合は、申し出により入学検定料が免除になりますので、入学センターまでご連絡ください。

⑤ 日本学生支援機構奨学金

日本学生支援機構の奨学金には、貸与型奨学金（無利子貸与の第一種奨学金、有利子貸与の第二種奨学金）があります。毎年、機構からの奨学生募集に基づいて、出願資格のある者の中から、一定の学力・家計基準等の基準を満たしている者を学内で選考・推薦します。また、授業料後払い制度（大学院修士段階において在学中は授業料を徴収せず、卒業後の所得に応じて後払いとする制度）を希望される場合は、学生課（087-841-0864）までお問い合わせください。

⑥ その他の学外の奨学制度

日本学生支援機構以外にも、地方公共団体や財団法人等が扱う奨学制度があります。目的や方針によって内容が異なりますので、詳しくは、学生課（087-841-0864）までお問い合わせください。

＜国の教育ローン・提携教育ローンのご案内＞

日本政策金融公庫のほか、指定金融機関・信販会社〔(株)百十四銀行、(株)オリエントコーポレーション、(株)ジャックス〕と提携して、新入生および在学生の学資負担者を対象にした融資制度を設けています。詳しくは、学生課（087-841-0864）までお問い合わせください。

■ 在学生対象

① 一般奨学生

勉学意欲が旺盛で人物・学業成績ともに優れた者に対して、選考のうえ、授業料全額または授業料の2/3もしくは1/3相当額を給付します。対象期間は1年間とします。

② 授業料免除

突発的な諸事情（学資負担者の死亡または災害など）により経済的困難が生じ、修学が困難な者に対して、翌期（または当該期）の授業料の全額または半額を免除します。

③ 授業料等の分納・猶予

経済的理由により納入期限までに納入が困難な場合に、その期に納入すべき授業料等の学納金について、月割分納または徴収猶予が許可される事があります。

④ 学長表彰

学生として学術・文化・スポーツ等の各部門において、顕著な成果を挙げ、本学の名誉を高めた者に対して、選考のうえ、賞状および副賞を授与します。

⑤ 国際交流助成

学術研究などを助成するため、選考のうえ、勉学奨励金、国際交流に伴う助成金を贈与します。

昼夜開講制

本学では、大学院での履修を希望する社会人学生に対し、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例による教育を実施しています。概要は、次のとおりです。

- (1) 社会人学生については、通常の授業時間（昼間）、特例措置による授業時間（夜間その他）のいずれにおいても授業を履修でき、単位を修得することができます。特例措置による授業時間（夜間その他）の授業のみの履修も可能です。
- (2) 授業の履修および研究については、事前に指導教員とよく話し合う必要があります。
- (3) 授業時間は次のとおりです。

区 分	校 時	時 間
通常の授業時間帯	1校時	9:00～10:30
	2校時	10:40～12:10
	3校時	13:00～14:30
	4校時	14:40～16:10
	5校時	16:20～17:50
特例による夜間の授業時間帯	6校時	18:00～19:30
	7校時	19:40～21:10

土曜日の授業は1校時から4校時となります。

個別の入学資格審査

■ 制度の概要

「個別の入学資格審査」とは、本学大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があるかどうかを認定する審査です。審査の結果、資格を認められた者は本学大学院へ出願することができます。

対象となる者は、「短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校等の卒業生など、大学卒業資格を有していない者で、学習歴や社会における実務経験等が大学を卒業した者と同等以上であることを客観的に確認でき、2025年9月30日までに22歳に達する者」です。

■ 申請方法

【申請手順】

- (1) 電話等による事前相談を行う。
高松大学 入学センター
TEL 0120-78-5920（受付時間：月～金（祝日を除く）9:00～17:00）
- (2) 審査申請締切日までに必要書類を提出する。（事前相談の結果、申請を許可された者のみ）
提出先 高松大学 入学センター
（提出用封筒は受験者自身で準備し、「特定記録」にて郵送してください）
- (3) 審査の結果、資格を認められた場合は、出願締切日までに出願書類を提出する。

【審査に必要な書類】

- ① 入学資格審査申請書（本要項のとじ込み用紙を記入）
 - ② 高等学校卒業後の学歴に係る卒業証明書および成績証明書（単位修得証明書）
 - ③ 大学における研究生の期間がある場合は、研究成果の概要を記載した書類および研究期間証明書（在籍期間が分かるもの）
 - ④ 職歴がある場合は、勤務先で作成した職務内容調書（在職期間および職務の内容を記載したもの。様式任意）
 - ⑤ 取得資格がある場合は、その写し
- （注）受理した申請書類は返却しません。

【審査申請締切日】

（注）申請前に入学センターへの事前相談（電話等）が必要です。

入試区分	申請締切日
秋学期	2025年 5月 19日（月） 必着

【審査結果の通知】

申請書類受領後、2週間以内に郵送により通知します。

2025 年度 高松大学大学院 入学願書
[秋学期]

受験番号

氏 名	フリガナ	(姓)	(名)	性別	生年月日	年齢
	氏 名			男 ・ 女	(西暦) 年 月 日	才
	アルファベット※			国籍※		
	漢 字 ※ (母国の漢字)					

※印の項目は私費外国人留学生のみ記入してください。

志願者連絡先	郵便番号				—				
	住 所	都 道 市 区 区 町 府 県 郡 村							
	電 話 番 号	自宅電話	() — () — ()						
携帯電話		() — () — ()							

志望区分・受験科目	☐ 一 般 選 抜	英語 専門科目 ()	
	☐ 社 会 人 特 別 選 抜	☐ 専門科目 ()	☐ 小論文
	☐ 長期履修学生特別選抜	☐ 専門科目 ()	☐ 小論文
	☐ 外国人留学生特別選抜	専門科目 ()	☐ 日本語 (該当者のみ)
入試区分	秋学期	特別演習	() 特別演習

- ・該当する□内にレ点を付してください。
- ・専門科目は、p. 2～5 を、特別演習は、p. 6 を参照してください。

学 歴 (高等学校から記入)			
(西暦)	年 月～	年 月	正規の修業年限 年
	年 月～	年 月	年
	年 月～	年 月	年
	年 月～	年 月	年
	年 月～	年 月	年
職 歴 (職名・地位等まで記入)			
	年 月～	年 月	
	年 月～	年 月	
	年 月～	年 月	
取得資格 (公的資格・各種検定試験等の合格、認定および受賞について、具体的に記入)			
	年 月		
	年 月		
	年 月		

入学検定料の振込みによる「ご利用明細」貼付欄（A T Mから振込みの場合）

【A T Mから入学検定料を振込む際の注意事項①】

- ・ A T Mからの「ご利用明細（コピー）」を貼付してください。
貼付していない入学願書は受け付けられません。
- ・ 「ご利用明細（原本）」は入学検定料領収書として大切に保管してください。
- ・ 取扱銀行収納印（3 カ所）は必要ありません。
- ・ 「入学検定料領収書」、「振込依頼票（入金票）」は切り取って破棄してください。

【A T Mから入学検定料を振込む際の注意事項②】

- ・ 振込先は、次のいずれかに、お間違えのないようお願いいたします。

振込先	預金種目	口座番号
百十四銀行 本店	普通預金	1 0 6 2 9 9 4
香川銀行 本店	普通預金	1 8 4 2 3 8 9
高松信用金庫 花園支店	普通預金	4 8 1 1 3 6 2

- ・ 振込人を入力する際には、志望区分（ダ ガ クイン）、志願者の氏名を入力してください。

入力例） 屋島 登（ヤシマ ノボル）さんが、大学院に出願する場合

→ **ダ ガ クイン ヤシマ ノボル**

写真票（大学院）

受験番号	
フリガナ	
氏 名	
志望区分	高松大学大学院 経営学研究科 ☐ 一般選抜 ☐ 社会人特別選抜 ☐ 長期履修学生特別選抜 ☐ 外国人留学生特別選抜
入試区分	☐ 秋学期 ☐ 前期 ☐ 後期

写真貼付欄

①正面脱帽顔写真
(縦4cm×横3cm)
②最近3ヵ月以内に
撮影したもの。
③写真の裏面に氏名
を必ず記入してく
ださい。

取扱銀行収納印
1

宛名ラベル

住所（受験票送付先）、受験者氏名を記入してください。
※印欄は記入しないこと。

(住所)

(氏名) 様

※

高松大学 高松短期大学

振込依頼票（入金票）・入学検定料領収書の記入

- 【金融機関から振込む場合】
- ・太線枠内を記入してください。氏名欄には志願者本人の氏名を記入してください。
 - ・入学検定料の銀行振込時に、必ず銀行収納印を3ヵ所受けて、領収書は各自で保管してください。
- 【ATMから振込む場合】入学願書（裏面）の注意事項を確認してください。

(取扱銀行で切り離してください)

志願者保管用

高松大学大学院
入学検定料領収書

氏名	
振込金額	¥ 3 0 0 0 0

上記のとおり領収しました。



志願者本人が大切に保管のこと。

取扱銀行用

テレ扱

振込依頼票（入金票）

依頼日	年 月 日		
振込先(いずれかに○をする)	預金種目	口座番号	金額
百十四銀行 本店	普通預金	1062994	¥ 3 0 0 0 0
香川銀行 本店	普通預金	1842389	
高松信用金庫 花園支店	普通預金	4811362	
口座名	学校法人 四国高松学園	手数料	
※志望区分			
大学院			
ダイガクイン			
※フリガナ			
氏名			
住所	〒 電話番号 () -		

取扱銀行へお願い
取扱銀行収納印は3ヵ所へもれなく押印してください。
※印の「志望区分」、「フリガナ」を必ず打電してください。
入学検定料 高松大学 30,000 円

高松大学 入学センター
TEL 087-841-5920



2025 年度 高松大学大学院 研究計画書
[秋学期]

受験番号

「特別演習科目」欄には、入学願書の「特別演習科目」欄に記入した科目を記入してください。
あなたの研究計画を、テーマ①および②に焦点をあてて、それぞれ 500 字程度で記入してください。また、③に修了後の進路について記入してください。

氏 名		特別演習科目	
-----	--	--------	--

① これまでに研究・経験しているテーマ、あるいは関心を抱いているテーマを述べてください。

[illegible]

② テーマ①について、本研究科であなたがどのように研究しようとしているかを述べてください。

This image shows a single page of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There is no handwriting or other markings on the paper.

③ 修了後の進路について記入してください。

2025 年度 高松大学大学院 推薦書
[秋学期]

受験番号

年 月 日

高松大学大学院
経営学研究科長 様

推 薦 者

学 校 名 _____

役職名等 _____

氏 名 _____ 印

志願者との関係 _____

下記の者を推薦いたします。

志願者氏名	
-------	--

志願者の研究能力、研究姿勢についてご記入ください。

記入欄が不足する場合は、別紙に記入してください。

2025 年度 高松大学大学院 長期履修申請書
[秋学期]

受験番号

年 月 日

高松大学大学院
経営学研究科長 様

申 請 者

特別演習 _____

氏 名 _____ 印

下記のとおり、長期履修を希望したいので申請します。

長 期 履 修 の 期 間

2025年10月 1日 ~

年 月 日

1. 長期履修を希望する理由

.....

.....

.....

.....

2. 履修計画及び研究計画

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

2025 年度 高松大学大学院 履歴書
[外国人留学生特別選抜（秋学期）]

受験番号

<記入上の注意>

- ・指定がない限り、日本語で記入してください。
- ・各項目とも、もれなく正確に記入してください。
- ・年月日はすべて西暦で記入してください。

記入日 年 月 日

氏 名	アルファベット		性 別	生年月日	年 齢
	フリガナ		男 ・ 女	(西暦) 年 月 日	才
	漢 字		国 籍		
	漢 字 (母国の漢字)		婚姻の有 無	有 ・ 無	
連絡先	国 内	郵便番号 電話番号 () —			
	本 国 (英語可)	郵便番号 電話番号 () —			

学 歴 (小学校から現在までの学歴を記入すること)				
学校種別	在学期間	学校名 (課程・学科等)	所在地 (国・地域)	正規の修業年限
小学校	年 月 ~ 年 月			年
中学校	年 月 ~ 年 月			年
高等学校	年 月 ~ 年 月			年
大学 (短期大学)	年 月 ~ 年 月			年
大学院	年 月 ~ 年 月			年
	年 月 ~ 年 月			年
以上を通算した学校教育年数計		年 月		
その他の 学校	年 月 ~ 年 月			年
	年 月 ~ 年 月			年
	年 月 ~ 年 月			年

職 歴				
勤務期間	勤務先名	所在地 (国・地域)	役職	勤務内容
年 月 ~ 年 月				
年 月 ~ 年 月				

家 族 状 況				
氏 名	続 柄	年 齢	職 業	住 所

過去の日本在留歴		
在留期間	在留地	目 的
年 月 ～ 年 月		
年 月 ～ 年 月		

在 留 資 格		
現在の在留資格	日本上陸許可年月日	在留期限
留学 ・ その他 ()	年 月 日	年 月 日

日 本 語 学 習 歴		
学習期間	学習機関名	所在地（国・地域）
年 月 ～ 年 月		
年 月 ～ 年 月		

日本語能力試験受験状況（合否結果通知書のコピーを添付すること）							
レベル	合否	受験地	受験年月日	言語知識得点	読解得点	聴解得点	総合得点
			年 月 日	点	点	点	点
			年 月 日	点	点	点	点
			年 月 日	点	点	点	点

(注) 試験結果が出ていない場合もレベル・受験地・受験年月日までは記入すること。

日本留学試験受験状況（成績照会のため、受験票のコピーを添付すること）						
科目	受験地	受験年月日	聴解・聴読解得点	読解得点	合計得点	記述得点
日本語		年 月 日	点	点	点	点
		年 月 日	点			
		年 月 日	点			

経 費 支 弁 書

日本国法務大臣 殿

国 籍 _____

氏 名 _____ 年 _____ 月 _____ 日生 (男・女)

私は、このたび上記の者が日本国に 在 留 中 入国した際 の経費支弁者になりましたので、下記のとおり
経費支弁の引受け経緯を説明するとともに経費支弁について証明します。

記

- 1 経費支弁の引受け経緯 (申請者の経費支弁を引き受けた経緯および申請者との関係について具体的に記入してください)

2 経費支弁内容

私 _____ は、上記の者の日本国滞在について、下記のとおり経費支弁することを証明します。

また、上記の者が在留期間更新許可申請の際には、送金証明書又は本人名義の預金通帳 (送金事実、経費支弁事実が記載されたもの) の写し等で、生活費等の支弁事実を明らかにする書類を提出します。

記

- (1) 学 費 毎月・半年ごと・年間 _____ 円
(2) 生 活 費 月額 _____ 円
(3) 支 弁 方 法 (送金・振込み等支弁方法を具体的に記入してください)

年 月 日

経費支弁者 (郵便番号 _____)

住 所 _____ TEL _____

氏 名 (署名) _____ (印)

学生との関係 _____

速 達

7 6 1 - 0 1 9 4

切 手
貼 付
締切日
消印有効

特定記録

出願書類在中

香川県高松市春日町九六〇番地
高松大学・高松短期大学
入学センター 行

出願学部・学科		高 松 大 学	☐ 発達科学部 子ども発達学科 ☐ 経営学部 経営学科
		高松大学大学院	☐ 経営学研究科
		高松短期大学	☐ 保育学科 ☐ ビジネスデザイン学科 ☐ 専攻科
志願者	フリガナ		
	氏 名		
	住 所	〒□□□-□□□□	

高松大学大学院 入学資格審査申請書

年 月 日

高松大学大学院
経営学研究科長 様

私は、高松大学大学院経営学研究科を受験したいので、個別の入学資格審査を申請します。

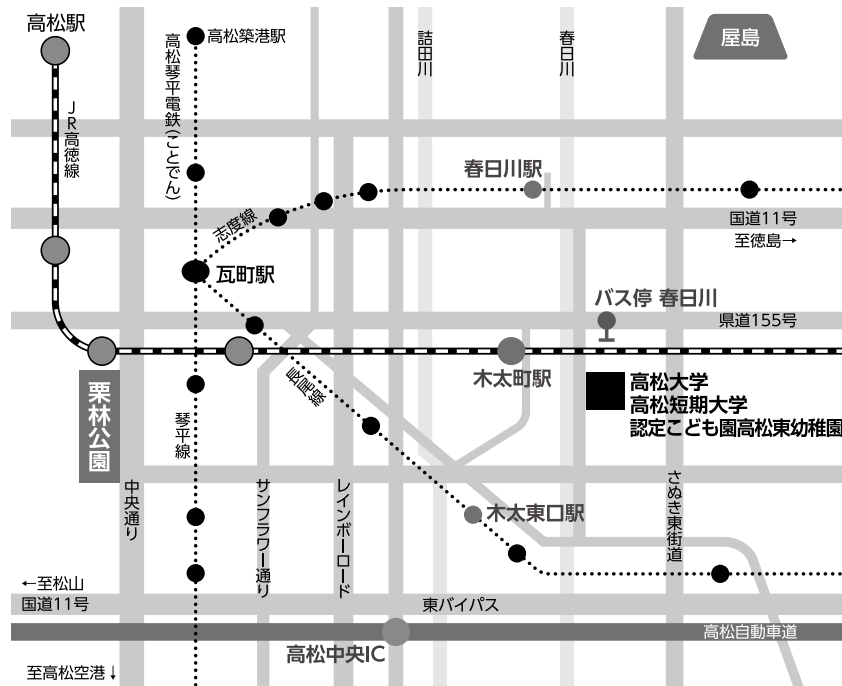
フリガナ			性別	生年月日	年齢
氏 名			男・女	(西暦) 年 月 日	才
現 住 所	〒		国 籍 ※留学生のみ		
連 絡 先	自宅		e-mail		
	携帯				

期 間	学 歴 (裏面(注)を参照のこと)	
(西暦) 年 月～ 年 月		
年 月～ 年 月		
年 月～ 年 月		
年 月～ 年 月		
年 月～ 年 月		
年 月～ 年 月		
年 月～ 年 月		
職 歴		
期 間	勤務先・所属部署・役職	職務内容 (具体的に記入)
年 月～ 年 月		
年 月～ 年 月		
年 月～ 年 月		
年 月～ 年 月		
取得年月	取得資格 (資格の名称・級・スコア等正確に記入)	
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		

研究業績		
年 月 (西暦)	論文・著書等の実績	
	論文・著書等名	公表専門誌・発表学会等
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
年 月	学会等における発表等の実績・受賞歴等	
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
その他の特記事項		
本大学院でどのような研究をしたいのかを理由とともに記入		

- (注) 1. 「学歴」欄は、高等学校から記入し、学科・課程・専攻等まで具体的に記入すること。
 なお、外国籍を有する者については、小学校入学から記入すること。
2. 上記の記載内容を証明する書類を添付すること。
- ・高等学校卒業後の学歴に係る卒業証明書および成績証明書（単位修得証明書）
 - ・大学における研究生の期間がある場合は、研究成果の概要を記載した書類および研究期間証明書（在籍期間が分かるもの）を添付のこと。
 - ・職歴がある場合は、勤務先で作成した職務内容調書（在職期間および職務の内容を記載したもの（様式任意））を添付のこと。
 - ・取得資格がある場合は、その写し
3. 日本語で表記されていない書類は、すべて日本語訳を添付すること。
4. 記入欄が不足する場合は、任意の様式（A 4）に記入すること。

交通のご案内



***** 学内図 *****

高松大学・高松短期大学への交通機関

- J R** 高徳線「木太町」駅から1.2km
- 私 鉄** ことでん志度線「春日川」駅から1.6km、
または長尾線「木太東口」駅から2km
- バ ス** ことでんバス庵治線、大学病院線
(高松駅⑦番のりばから約20分乗車)
(瓦町駅前①番のりばから約15分乗車)
バス停「春日川」から500m
- 高速道路** 高松自動車道「高松中央IC」から3.5km

